

⑫ 臨江閣別館

中央・南橋 (旧沼田街道沿い)の 文化財めぐり

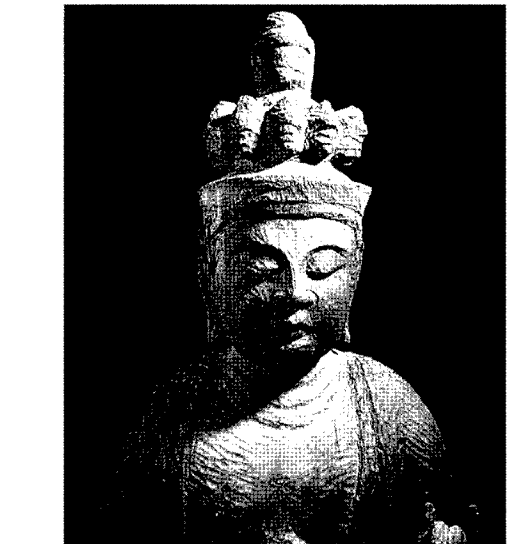


前橋市教育委員会

文化財愛護シンボルマーク



③ 塩原塚古墳



④ 十一面観世音像

中央・南橋地区の歴史

火山性の泥流により造り出された前橋台地と旧利根川の氾濫による広瀬川低地帯にまたがっているこの地域には、たくさんの文化財があります。

古代の歴史を伝えるものとしては、塩原塚古墳やカロウト山古墳石棺(古墳時代)、伯牙弹琴鏡(奈良時代)、十一面観世音像(平安時代)などが残っています。

時は移り、戦国時代になると厩橋城が築かれ、関東を征する拠点として多くの戦国大名が進出しました。長い戦乱の後、16世紀末、平岩親吉が城主となり、10年間この地を治めました。

ついで、酒井重忠が封ぜられ、以後酒井氏が九代148年間在城し、城下町としての前橋を整備しました。

酒井氏転封の後、松平氏が入城し、六代120年間藩主をつとめました。しかし、利根川の洪水により、本丸・二の丸など主要部分がかずれ落ちたため、わずか19年で川越に移り、城主不在が長く続きました。

幕末に、生糸貿易で成功した町人の力で城が再築され、松平氏も戻り、城下町としての姿を取り戻しました。

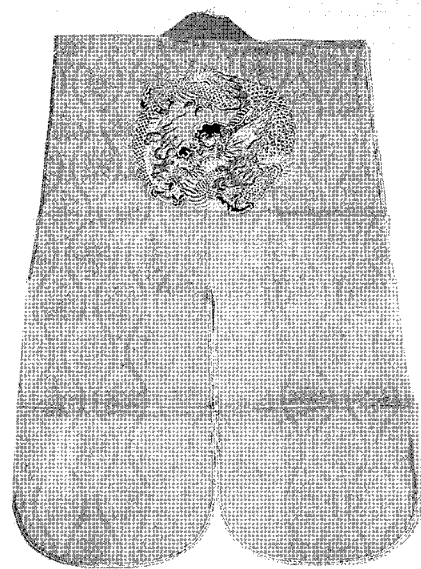
明治以降は糸の町としてもまた県道としても発展し、明治3年(1870)には、日本で最初の器械製糸所が造られ、全国から見学者や見習いが集まりました。さらに明治45年(1912)には、国立原蚕種製造所が設置されるなど近代日本の蚕糸業の中心として発展しました。

問い合わせ先 文化財保護課

前橋市三俣町二丁目10-2

TEL 027-231-9875

FAX 027-231-9862



⑭ 前橋藩主松平家陣羽織



⑰ 前橋市蚕糸記念館



⑨ 岩神の飛石



⑳ 前橋城車橋門跡

中央・南橋(旧沼田街道沿い)の文化財を訪ねて

江戸時代に発達した沼田街道(前橋と沼田を結ぶ街道で、主に沼田藩の参勤交代用の道として使われました)に沿った地域には、前橋城ゆかりの寺社をはじめとして、古代から近代まで次のような貴重な文化財があります。

① 萩原朔太郎の墓 政享寺 田口町754-4

前橋を代表する詩人萩原朔太郎は、明治19年に北曲輪町に生まれました。大正6年に詩集「月に吠える」を出版。当時の詩壇で大評判となり、近代日本の確立に大きな足跡を残しました。

② 石造観音菩薩坐像(市重文)宝林寺 田口町544-1

この石仏は、応永20年(1413)の銘のある安山岩製の半肉彫の坐像です。総高48cmで、像は二重の蓮華座に坐し、舟形の光背には5つの梵字が刻まれています。

③ 塩原塚古墳(市史跡) 田口町582-7

直径14mの小円墳で、榛名山二ツ岳噴火の石をけずって積んだ全長6mの横穴式石室があります。副葬品には直刀2、耳環16馬具などがあり7世紀初頭に造られたものと推定されています。

④ 十一面観世音像(県重文)* 日輪寺 日輪寺町412

高さ128.5cmで桂の木を使った一木造りです。丸のみの痕をそのまま残す素朴な平安後期の作で「銘彫りの観音」として崇敬されてきました。密教仏の代表的なものです。

⑤ 日輪寺寛永の絵馬(市重文)* 日輪寺 日輪寺町412

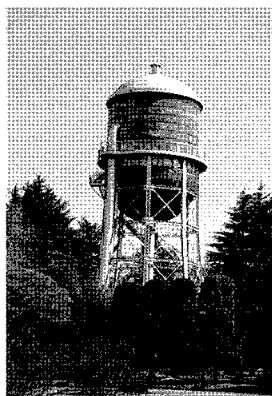
「馬が夜毎に抜け出して田畑を荒して困るので手綱をつけた」という伝説をもち、寛永17年(1640)の作で、作者は不明です。

⑥ 前橋藩家老小河原左宮の甲冑附旗差指物(市重文)* 荒牧町894-1

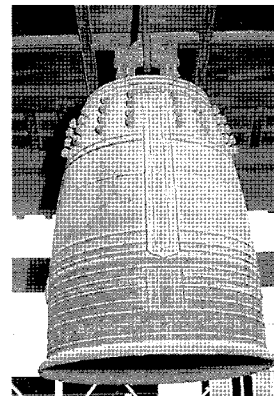
この甲冑は、幕末の前橋藩筆頭家老小河原左宮の具足で、旗差指物も揃い着用者が明らかであり時代考証のできる貴重なものです。

⑦ 前橋市蚕糸記念館(旧蚕糸試験場事務棟)(県重文) 敷島町262

明治末期の代表的な洋風建築物で、蚕糸関係の資料を展示した記念館として公開しています。明治45年(1912)に落成した国立原蚕種製造所前橋支所の本館として建てられ、昭和56年(1981)にバラ



⑳ 前橋市浄水場配水塔



⑮ 妙安寺の梵鐘

⑮ 妙安寺の梵鐘(県重文) 妙安寺 千代田町三丁目3-30

高さ86cm、口径54cmの小ぶりの梵鐘で、南北朝時代の作。大工想社住人藤原吉久・伊清の銘を持つ、碓氷峠の熊野神社のものに次ぐ古名鐘です。

⑰ 妙安寺所蔵宸翰三幅(国重美)* 妙安寺 千代田町三丁目3-30

妙安寺は、徳川家康による東本願寺創建にあたり所蔵の伝「親鸞聖人自作木像」をゆずっています。この時に木像の代わりとして贈られたものです。この時贈られたほとんどが国県市の重要文化財になっています。

⑱ 四神付飾土器(国重美) 中央公民館 大手町二丁目3-6

明治11年に西大室町の前二子古墳の石室より出土しました。6世紀前半の須恵器製の筒形器台で蛇・蛙・亀・鳥等の小さい像を配しており大陸文化の影響がみられます。

⑲ 酒井家史料(市重文)・前橋藩松平家記録(市重文)*

市立図書館 大手町二丁目12-9

前橋藩歴代藩主酒井家・松平家に係わる古文書です。内容は藩政の全般にわたり、当時の様子が生々しく記されています。

⑳ 前橋祇園祭礼絵巻(市重文)* 市立図書館 大手町二丁目12-9

江戸時代の前橋で一番にぎやかな行事の一つ、祇園祭の様子を描いたものです。当時の人々の様子がよく分かります。

㉑ 前橋城車橋門跡(市史跡) 大手町二丁目5-3

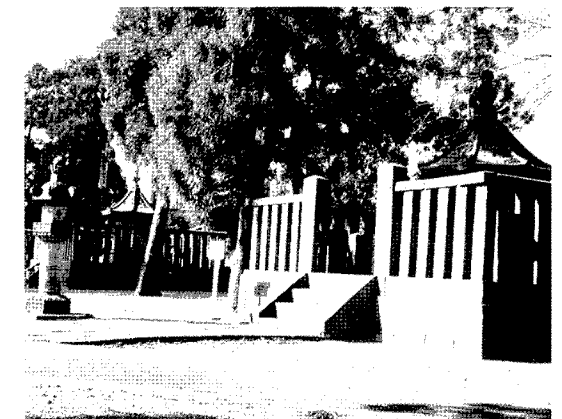
慶応3年(1867)に復興された前橋城渡やぐら門の土台跡です。現存している前橋城の跡は、この門跡と県庁北の土塁、児童遊園地の空堀だけです。

㉒ 東福寺鯉口(市重文)* 東福寺 三河町一丁目9-18

鯉口は寺や神社の軒下につるし、願い事をするときに鳴らすものです。この鯉口は、室町時代の応永13年(1406)に作られたものです。

㉓㉔ 八幡宮文書・伯牙弹琴鏡(市重文)* 八幡宮 本町二丁目9-18

八幡宮文書は戦国時代末から江戸時代の前橋の様子を、伯牙弹琴鏡は国府の置かれた奈良時代頃の前橋を探る上で貴重な資料といえます。



㉕ 前橋藩主酒井氏歴代墓地

園内に移築されました。

⑧ 萩原朔太郎記念館 敷島公園バラ園 敷島町262

朔太郎の生家・土蔵などを北曲輪町(現、千代田町二丁目)から移築し、朔太郎記念館として公開しています。年譜、パネル、初版詩集、日記、書簡などが展示されています。

⑨ 岩神の飛石(国天記) 岩神稲荷神社 昭和町三丁目29-11

石のまわりが70m、高さ10m、地下に10m以上も埋まっている大岩で、赤城山の山頂付近にあった岩が、坂東橋近くに押し出され、「前橋泥流」によってここまで流されてきたといわれています。

⑩ 奈良三彩小壺(市重文)* 前橋市総合教育プラザ 岩神町三丁目1-1

昭和56年に上泉町の絵筆遺跡の住居跡から出土しました。緑・白・黄褐色の釉で飾られています。蓋はありませんがつくりもよく8世紀に畿内周辺で作られたものと見られます。

⑪ 神明宮の甲冑(市重文)* 前橋市総合教育プラザ 岩神町三丁目1-1

この甲冑は、全体を金箔押しした華やかで、かつ実用本位の具足です。社伝によれば、前橋藩主酒井氏が姫路へ転封するにあたり寄付したものといわれています。

⑫ 臨江閣本館・茶室(県重文)、別館(市重文) 大手町三丁目15

本館と茶室は明治17年に県・市の迎賓館として、別館は明治43年に共進会の貴賓館として建てられました。近代和風の公共建築物として貴重です。

⑬ 酒井重忠画像(市重文)* 源英寺 大手町三丁目17-22

掛軸仕立ての極彩色の日本画で、元和二年(1616)五月、厩橋城主河内守重忠の自筆とあります。

⑭ 前橋藩主松平家能装束(市重文)・陣羽織(市重文)・軍配(市重文)*

東照宮 大手町三丁目13-19

前橋藩主松平家が東照宮に奉納したものです。

⑮ 日本最初の器械製糸所跡 住吉町一丁目 国道17号沿い

明治3年(1870)6月、前橋藩士深沢雄象・遠見堅吾によって造られた全国初の洋式器械製糸所の跡で記念碑が建っています。

㉖ 高須家墓地(市史跡) 正幸寺 三河町一丁目19-37

高須家は三河出身の武士で、前橋藩主酒井氏の家老職の家柄でした。家柄にふさわしく、石殿型の石塔が系統的に保存されています。

㉗ カロウト山古墳石棺(市重文) 中川小学校 三河町二丁目1-3

凝灰岩の内部をくりぬいた箱形をしており、7世紀頃の「家形石棺」の身の部分です。県内で四例残っているうちのの一つです。

㉘㉙ 松平藩主画像(市重文)・結城政勝画像(市重文)*

孝顕寺 朝日町四丁目29-24

松平藩主の画像には、結城秀康(徳川家康の二男)の四男松平直基から八代の藩主の姿が描かれています。孝顕寺は松平氏と関係の深い寺で、幕末に川越から松平氏とともに移ってきました。

㉚ 前橋藩主酒井氏歴代墓地(市史跡) 龍海院 紅雲町二丁目8-15

酒井氏は、前橋城主を九代、続いて姫路城主を六代つとめた有力な大名です。歴代城主の墓が石の柵に囲まれて残っています。

㉛ 下村善太郎の墓(市史跡) 龍海院 紅雲町二丁目8-15

下村善太郎は、江戸時代末から明治にかけての有力な生糸商人として今の前橋の基礎づくりに貢献し、初代前橋市長になりました。

㉜ 本城氏の墓(市史跡) 長昌寺 紅雲町一丁目9-14

本城氏は出羽57万石最上氏の家臣でしたが、後に酒井忠世につかえました。墓は2mを超える五輪塔が三基残されています。

登録文化財制度

国土の歴史的景観に寄与しているもの、造形の規範となっているもの、再現することが容易でないものといった基準にあてはまる築50年以上の建造物が登録の資格をもっています。㉝群馬県庁本庁舎(昭和庁舎)㉞群馬会館㉟前橋市水道資料館㊱前橋市浄水場配水塔㊲萩原家住宅㊳広瀬川美術館㊴前橋カトリック教会聖堂㊵旧安田銀行担保倉庫(協同組合前橋商品市場倉庫)㊶旧麻屋呉服店舗が登録文化財になっています。

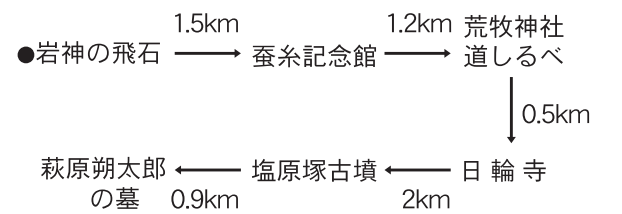
(重文……重要文化財 重美……重要美術品)
天記……天然記念物
*については、ふだん公開されていません。

中央・南橋 (旧沼田街道沿い)の 文化財を訪ねて

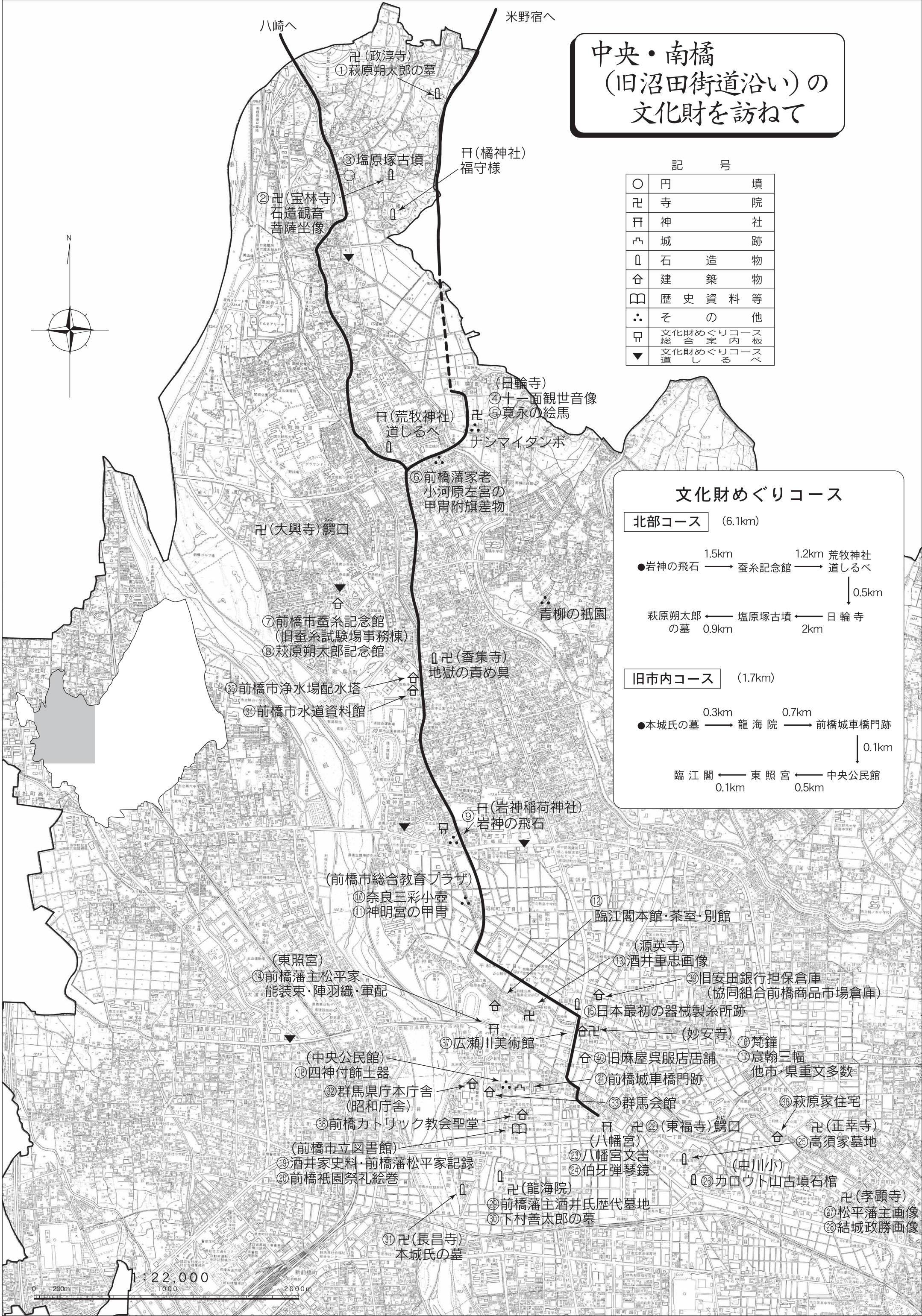
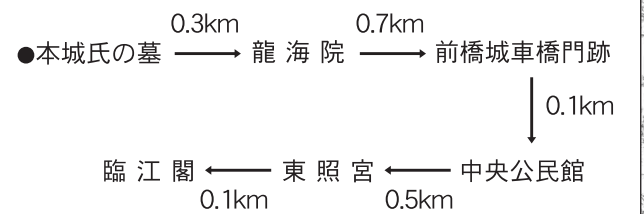
記号		
○	円墳	墳
卍	寺	院
卍	神社	社
⌒	城跡	跡
⌒	石造物	造物
合	建築物	物
冊	歴史資料等	
∴	その他	
卍	文化財めぐりコース 総合案内板	
▼	文化財めぐりコース 道しるべ	

文化財めぐりコース

北部コース (6.1km)



旧市内コース (1.7km)



1:22,000

